

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年第 4 回定例会

| 質 問 者 | 質 問 事 項 | 答 弁 を 求 め る 者 |
|---------|---|--|
| 立石靖夫 議員 | <p>1 人工種苗生産による養殖業の振興について</p> <p>(1) 広域漁場整備事業（島間港消波堤整備）計画について ア 事業概要・事業年度・事業主体を示せ。 イ 総事業費と負担区分を示せ。</p> <p>(2) 島間港ブリ中間育成養殖場実施計画について ア 事業概要・事業年度・事業主体を示せ。 イ 総事業費と負担区分を示せ。</p> <p>2 定住促進の取り組みについて</p> <p>(1) 現在までの空き屋対策を示せ。 ア 空屋調査件数と所有者承諾件数を示せ。 イ 空き屋の整備は行政が負担する考えか。 ウ 今後、宇宙留学の家族留学希望者にも活用するのか。</p> <p>3 自衛隊訓練に伴う宿泊施設（自然の家）許可申請について</p> <p>(1) 町長の政策的判断は条例優先と判断したのか。 (2) 自然の家宿泊施設不許可に至るまでの経過について</p> | <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p> |
| 柳田 博 議員 | <p>1 農作物の台風・気象等に関する被害について</p> <p>(1) 台風 5・22 号の襲来と気象不良によりことごとく農作物の減収となった。その事に対する対応策は。 (2) それに伴って農業所得が激減し払うものも払えない状況。行政としての考えは。</p> <p>2 各地区の消防団詰所について</p> <p>(1) 海拔 10m以下にある消防団詰所は何地区か。 (2) 津波対策として海拔 10m以下の詰所は、10m以上の位置まであげ建設をする考えは。 (3) 早急にできないのであれば、詰所にトイレの設置はできないか。</p> <p>3 観光・レジャー者に向けた対応について</p> <p>(1) 種子島マングローブ・パークに公衆トイレがあるが、その付帯設備として更衣室ができないか。</p> | <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> |

| | | |
|---------|--|--|
| 大崎照男 議員 | <p>1 農産物・園芸作物の生産拡大について</p> <p>(1) 園芸団地を各地域につくることはできないか。</p> <p>2 地方の商店について</p> <p>(1) 継続・運営のための補助を出せないか。</p> <p>3 ふるさと納税返礼品について</p> <p>(1) 返礼を商品ばかりでなく、作業を返礼として（墓参り・家の草払い・掃除等）できないか。</p> <p>4 あおぞら保育園保育料について</p> <p>(1) 扶養者負担金を一律にできないか。</p> <p>5 町道の名称について</p> <p>(1) 主な道路に道路名・坂道名・由来など看板等で表示説明ができないか。</p> | 町 長 町 長 町 長 町 長 町 長 |
| 上園和信 議員 | <p>1 人口減少克服対策について</p> <p>(1) 減り続ける本町の人口、この現実をどう受け止めているか。</p> <p>(2) 本町の本年1月から11月までの人口動態は。 （自然増減、出生者数 人、死亡者数 人、増減 人） （社会増減、転入者数 人、転出者数 人、増減 人）</p> <p>(3) 人口減少に歯止めをかけるには即効性のある企業誘致が最善と考える。企業誘致への取り組み状況と進出・立地の動きは。</p> <p>(4) 移住・定住促進の取り組みは。 （移住・定住者の受入れと優遇策、空き家確保と活用など）</p> <p>(5) 平成30年度宇宙留学生の応募状況と受入れ決定者数は。 （里親留学、家族留学、親せき留学）</p> <p>(6) 留学希望者の思いをかなえてあげ、同時に人口減少に歯止めをかけるため、受入れ児童を増やす考えはないか。</p> <p>(7) 本町は日本で唯一実用衛星を載せた大型ロケット打上げ射場を有する町である。これから大きく進展していこうとする宇宙開発とタイアップしながら「まちづくり」「まちおこし」に取り組み、人口減少を克服していく。このことについてどう考えるか。</p> | 町 長 教育長 教育長 町 長 |

| | | |
|---------|--|-----|
| 塩釜俊朗 議員 | <p>3 西郷どんについて</p> <p>(1) ゆかりの地としての問い合わせは。</p> <p>(2) あったとすればその地の観光地としての情報発信はできないか。</p> <p>4 前之峯陸上競技場について</p> <p>(1) 現在設置している全天候型のランニングコースを改修すべきではないか。</p> | 町 長 |
| 広浜喜一郎議員 | <p>1 選挙公約の実現と今後の政策について</p> <p>(1) 選挙公約の実現について</p> <p>ア 公立種子島病院経営の早急な立て直しについて</p> <p>イ 常勤医と正看護師の確保について</p> <p>ウ 保育料の軽減について</p> <p>エ 温泉水の活用について</p> <p>オ 島間港への高速船就航について</p> <p>カ 市街地の中心に駐車場とトイレの設置について</p> <p>(2) 観光物産館の運営について</p> <p>2 キャトルセンター・堆肥センターの運営について</p> <p>(1) キャトルセンターの運営について</p> <p>(2) 堆肥センターの運営について</p> | 町 長 |
| 日高澄夫 議員 | <p>1 国保事業について</p> <p>(1) 11月15日市町村説明会で県が示した納付金等仮算定結果について</p> <p>ア 鹿児島県が第3回試算で示した1人当たり標準保険料はいくらか。</p> <p>イ 南種子町の29年度1人当たり保険料は第3回試算に比較してどうか。</p> <p>ウ 28年度決算では決算補填目的で2,274万円法定外繰入をしているが、29年度はどうなるか。同程度の法定外繰入になる予想か。</p> <p>エ 試算は国費1,700億円のうち9割近くを算入して保険料を算定しているらしい。決算補填であっても29年度も法定外繰入をすべきだ。</p> <p>オ 県納付金・県標準保険料試算で、応能50、応益（均等割35、平等割15）としているが、南種子町の29年度の応能・応益の割合はどうなっているか。</p> | 町 長 |

| | | |
|----------------|---|----------------------------------|
| <p>日高澄夫 議員</p> | <p>カ 10年前に50:50の賦課だったら滞納も減ったのではない か。</p> <p>キ 決算補填等目的の法定外繰入よりも払える保険料とする ために国保税引き下げに法定外繰入をすべきだ。</p> <p>2 環境美化のために</p> <p>(1) 上中信号機近くの元パチンコ店の解体について勧告等する 考えはないか。</p> <p>3 防災無線について</p> <p>(1) 何が問題なのか。受信が完全でないといいます。</p> <p>4 自衛隊演習基地について</p> <p>(1) 鉄砲伝来の前之浜を、自衛隊の演習基地にするのか。</p> | <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> |
|----------------|---|----------------------------------|